

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：野口 昌彦

委員：秋元 正宇、大守 誠、奥本 隆行、片平 次郎、小室 明人
竹内 正樹、土佐 泰祥、羽多野隆治、浜島 昭人、福田 憲翁
三川 信之、森本 尚樹

開催年月日：2023年8月2日(領域講習審査ガイダンス:WEB会議)

2024年2月3日(更新審査委員会:WEB会議)

メール委員会

活動内容：

1. 日本専門医機構の整備指針変更にもなう指導内容の通知および内容の検討
2. 現行の学会会員カード(日本形成外科学会ゴールドカード)廃止問題に対する検討
3. 2023年度専門医資格更新審査
4. 専門医講習審査(領域講習・共通講習)および「領域講習申請時の経費」の見直し
5. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新および新規申請審査
6. その他

活動の概要：

1. 日本専門医機構の整備指針変更にもなう指導内容の通知および内容の検討
 - a. 共通講習申請の手引き
 - ・基幹、連携施設以外が開催する共通講習の審査機関への申請についても講習会開催の3か月前に厳守。
 - b. 必修共通講習の内容変更
 - ・必修講習B「医療制度と法律」に下記の(5)～(7)の項目を追加いたしました。
「医療制度と法律」
 - (5)働き方改革関連に関する法整備、法令
 - (6)医師のダイバーシティと働き方改革
 - (7)上記以外の医療関係法規、働き方改革関係の解釈と運用
 - c. 「専門医認定・更新」に関する補足説明(2024.01.19)
 - ・JMSB OS+上に研修実績の登録をする必要がある
 - ・活動猶予および休止に際しての“特定の理由”の追加
国内外への研究留学、海外での勤務、病気療養、妊娠、・出産、・育児、介護、災害被災、事故、管理職、公的機関への出向、地域枠等の従事要件
 - d. 専門医資格複数回更新者の更新時業績提出免除制度の廃止(シニアキャリア制度導入)について
 - ・複数回の更新を経た専門医の更新においても診療実績の証明の免除は行わない。
(2026年度から)
 - e. 更新資格における必須受講項目の追加(2026年更新者から)
 - ・共通講習B(5項目:医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済(保険医療に関するものを含む)、両立支援)受講が必須となる。

共通講習 B の免除

既に専門医を取得されている医師

初期研修～専攻医時に“多様な地域＊”にあたる地域で3ヵ月以上研修をされた医師

専門医取得後に“多様な地域＊”にあたる地域で1年以上勤務された医師

＊形成外科学会では“多様な地域”の定義として足下充足率 0.8 以下の地域としている

課題: 現行の入力フォームにおいて共通講習 B の受講が必要か不必要かに応じ振り分けるシステムへの作り直しが必要。

2. 現行の学会会員カード(日本形成外科学会ゴールドカード)廃止問題に対する検討
 - ・VISA カードに使用されている IC チップの製造終了にともない対応が必要となった。
2025 年 10 月までに変更を行い新たな体制での運用が開始される必要がある。
 - ・現在理事会ではクレジット機能のない顔写真入り学会カード制作で検討している(未定)。

3. 2023 年度専門医資格更新審査
 - 新制度に基づき更新審査の手引きの改訂を行い、会告として告知(6月)。
 - 専門医更新審査会を 2024 年 2 月 3 日に開催。
 - 本年度の専門医資格更新審査対象者は 530 名で、申請者は 449 名であった。そのうち更新を承認された者は 418 名、書類不備により追加書類などの再提出後の再承認審査対象者が 28 名であった。
 - 猶予申請は 9 名で、内 8 名の猶予が認められた。

4. 専門医講習審査(領域講習・共通講習)および「領域講習申請時の経費」の見直し
 - ・領域講習 135 件、共通講習 12 件の審査を行った
 - ・領域講習申請時の経費の見直し
 - 現在の 3 万円が 2 万円に減額となり理事会にて承認された(2024 年 4 月より施行)。

5. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新および新規申請審査
 - 56 件の更新につき審査を行い承認とした。
 - 関連学会として新たに「日本静脈学会」が承認された。
 - 辞退希望 5 件のうち、実質上の担当者が関わっていない可能性から再調査を行い、結果 3 件の辞退が承認された。

6. その他
 - ・専門医取得試験に際しての提出書類の改竄行為に関する疑義照会を行った。